

ハワイ旅行のプランニングで ホスピタリティを学ぶ。

＜松岡ゼミ＞

産学連携を中心とした体験学修や、チームで課題解決に取り組むプロジェクト型学修を展開。学生は観光関連の実践的な知識やホスピタリティ・マインド(おもてなしの心)を身につけている。



1 学生の斬新な発想とプロのノウハウを融合させ、これまでにない旅行プランをつくり、旅行業界を活性化させたい—その目標のもと、2014年秋、JAL(日本航空)、近畿日本ツーリスト、松岡ゼミによる「ハワイ旅行商品開発プロジェクト」が始動。



2 学生20人が4チームに分かれ、まずはハワイの地理、歴史、文化、風習などを調査・研究。グループワークが円滑に進むように、松岡教授が評価シートや振り返りシートを用意。「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価)」「Action(改善)」のPDCAサイクルを意識して、学生たちは旅行プランを考案します。



3 春休み期間を活用し、4泊6日のハワイ体験学習へ。観光スポットや飲食店、ショッピングモールなどを視察し、現地の人々と交流しながら、新たな観光資源を発見します。



5 チームごとにPDCAサイクルを積み重ね、旅行商品の具体案を練り上げます。中間発表、最終プレゼンでは、写真や文字を効果的に組み合わせたスライドを用意し、旅行プランを発表。JALや近畿日本ツーリストの方々から意見をいただき、学生は企画立案の難しさ、おもしろさを噛みしめます。



4 スマホやタブレット端末などのICT※機材を使い、旅行プランに組み込める素材を収集・分析。ハワイを五感で楽しみ、旅行のアイデアを大きく広げます。

※Information and Communication Technology (情報通信技術)

6 最優秀プランに選ばれたのは、「歩いてまわる癒しのハワイ」。旅行と宗教をつなげた新しい着眼点が高く評価されました。



7 プロの旅行プランナーの指導を受けて商品化し、2015年秋から一般発売。また、中部国際空港で開催された「わく旅フェア」に学生が参加し、ステージに立ってハワイの魅力を伝えました。

POINT

「現場主義」の観点を大切にして指導する、松岡教授。現地で体も心も動かすことが観光学の本質であるホスピタリティ・マインドを育むと信じ、体験学修を重視しています。その想いに応えるように、学生はプロジェクトに力を注ぎ、社会人、国際人へとたくましく成長します。

教員・ゼミテマ一覽

〈客員教授〉野呂 忠司 言語と文化・言語と認知、言語の習得理論と実践研究に基づく英語の指導法

〈教授〉上田 恒雄 英語習得のプロセスとメカニズム/杉浦 正好 英語教育の諸問題～英語教材としての映画～/中村 幸子 通訳・翻訳・産業観光ガイドのテーマ分析
松岡 昌幸 観光、ホスピタリティ・マインドの解明/道添 栄一 国際ビジネス・国際経済、国際金融～英文教材を使って～

〈准教授〉石川 弓子 言葉の意味、言語と社会の関係/G.L.ロウ 日本文化と他国文化の比較～英語を使って～/S.P.テンホフ 比較文化、異文化理解、異文化コミュニケーション

〈外国人教師〉P.D.メイソン コミュニケーション分析